



参加費
無料

いとまん 共助を育むまちづくり シンポジウム



目的 南部病院跡地に多世代交流・地域福祉及び避難拠点整備を計画しております。市民の意識醸成を図り、要配慮者に関する視点を拾い上げることを目的に、本シンポジウムを開催します。

日時 2023年 **11月27日(月)**
17:30～(開場 17:00)

会場 シャボン玉石けん くくる糸満 大ホール
(糸満市潮崎町1丁目1番地2)

プログラム

- 基調講演① 「多世代交流の場を実現するために」
- 基調講演② 「助けられる人から助ける人へ」
- 学生課題発表 「要配慮者のための避難所整備」

定員 200名(こども同伴可)

お申し込み
方法

右記2次元コードまたは下記URLから専用フォームにアクセスして回答を記入してください。
<https://logoform.jp/form/mn7P/382931> 申込締切 11月20日(月)



講師



一般社団法人プロモーションうま 代表理事
中村 薫氏

那覇市出身、うま市在住。2015年、一般社団法人プロモーションうまを設立。2016年、代表理事に就任。地域の魅力の「ヒト・モノ・コト・ジョウホウ」を掘り起こし、編集し、価値を伝える。というスペシャリティを活かし、「100年後のうまをつくる」を理念に掲げ、うま市と周辺地域のQOL向上を目指し、地域づくりに取り組んでいる。

東日本大震災語り部 **糸日谷 美奈子氏**

1978年、岩手県盛岡市生まれ、奥州市育ち。岩手大学卒業後、中学校の理科教諭として岩手県内の中学校に勤務。東日本大震災当時は、釜石東中学校に勤務。2013年3月、出産を機に退職し千葉県に移住。2016年に『わくわく実験工房』を設立し、幼稚園児から大人まで楽しめる科学実験教室を開催している。釜石東中学校での防災教育から『学ぶことで助かる命がある』ことを体験し、2019年に防災士の資格も取得。2022年、マチナカ菜園という防災拠点になる菜園の整備を開始。科学実験と共に、地域に根ざした防災教育を行っている。



沖縄女子短期大学 児童教育学科 **砂川ゼミ学生**



沖縄女子短期大学の2年生です。これまで保育所、幼稚園、児童館、児童福祉施設等で実習を体験してきました。ゼミナールでは、子どもの権利擁護×SDGsをテーマに児童福祉施設の見学等を通して学んできました。これまでの学習成果や保育者を目指す学生の視点でご報告をさせていただきたいと思っています。